

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 永犬丸 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走・20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

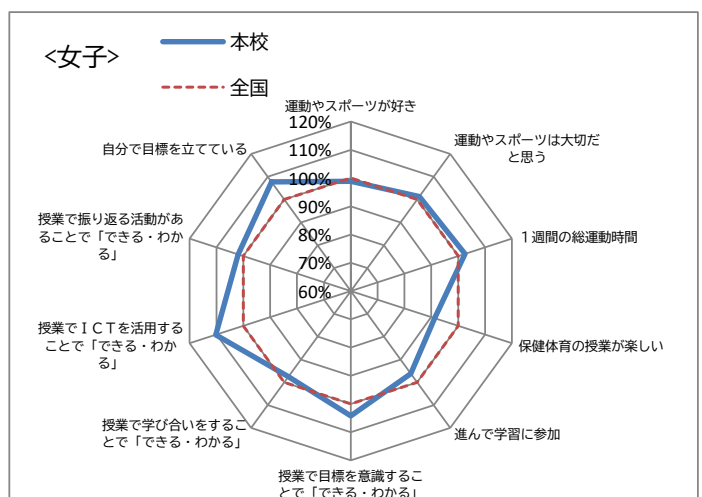
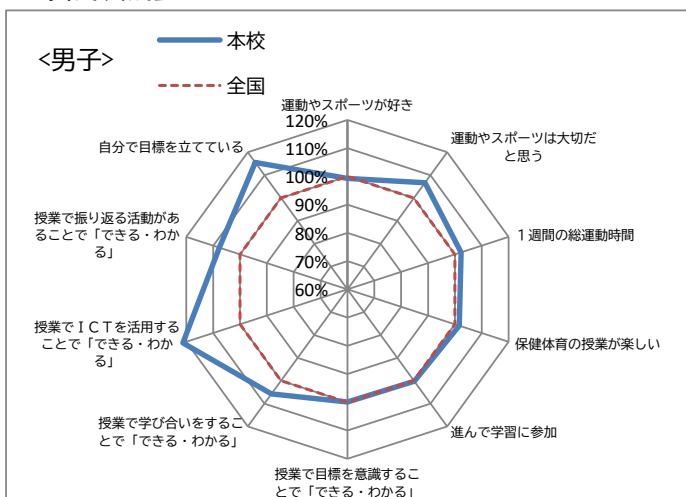
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.95	25.94	44.47	51.51	410.69	78.98	7.99	197.18	20.57	41.86
本市	29.93	26.34	45.51	52.15	463.01	81.17	7.88	201.59	20.38	43.31
本校全国平均以上の種目	○	○	○							○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.18	21.56	46.47	45.65	309.02	50.67	8.96	166.32	12.40	47.37
本市	23.47	21.97	46.62	46.51	330.19	52.35	8.85	171.43	11.75	48.44
本校全国平均以上の種目	○		○					○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

年間通して、導入から展開につながる思考を促し（目指す姿へのアプローチ⇒めあてとのつながりを持たせる。）ことを保健体育科全体で取り組んだ結果、〈自分で目標を立てている〉の回答が全国平均を超えており、生徒自身が見通しをもって授業に取り組んでいる結果だと考える。ICT機器の活用については、積極的に活用（記録、手本の提示、アンケート、振り返り等）ができており、全国平均を大幅に超える結果になってお

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

○保健体育科の授業は、最初に目指す姿や評価基準の提示、情報教材の活用、振り返りの提示、めあての設定、学習課題の明確化などを行った。その結果、生徒が目標や目指すべき姿を理解し、主体的に学習に取り組めるようになってきている。特に女子の〈保健体育の授業が楽しい〉が全国平均から著しく低く、それ

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

本校は1校1取組でダンスを実施している。1年生は、ダンス集会を開き、プロのダンサーを招聘し、集会の中で簡単な振付のダンスの構成などの指導を受けた。2年生では現代的なリズムのダンスをグループで構成し、3年生では文化発表会で実施した劇の中で創作ダンスを取り入れ、生徒の体力向上に取り組んだ。